

2019年5月3～4日

各地の5・3憲法集会（改憲派の行動も）

令和初の憲法記念日 護憲派と改憲派が各地で集会

北海道新聞 05/04 05:11 更新



首相が早期実現を目指す憲法

改正の発議に反対する護憲派のデモ行進＝札幌市中央区



憲法記念日の3日、市民団体などが道内各地で集会を開き、護憲、改憲それぞれの立場から主張を展開した。憲法施行から72年を迎え、「令和」初の記念日。安倍晋三首相が2020年の改正憲法施行を目指す意向を改めて表明し、夏の参院選で争点の一つになるとみられる中、護憲派は危機感を募らせ、改憲派からは期待する声が上がった。

護憲派の憲法学者らでつくる「戦争をさせない北海道委員会」は、札幌市中央区の大通公園で集会を開き、主催者発表で750人が参加した。

同市北区の看護師佐賀史織さん（33）は壇上で、長時間労働や人手不足が改善されない医療現場の窮状を訴え、「憲法を変えれば国や暮らしが良くなるような首相の発言は信用できない」と批判。憲法25条が保障する生存権を例に挙げて「憲法にはより幸せになるためのヒントがある。改憲の動きをはね返したい」と力を込めた。集会後、参加者は札幌駅前通をデモ行進した。

一方、改憲を訴える保守系団体の日本会議北海道本部などでつくる「美しい日本の憲法をつくる道民の会」は、札幌市中央区のかでる2・7で集会を開いた。参加者300人（主催者発表）を前に、皇学館大の松浦光修教授が講演。憲法は連合国軍総司令部（GHQ）の主導で制定されたと主張し、「戦後レジーム（体制）を打破しなくてはならない。9条改正も喫緊の課題だ」と述べた。

集会に参加した同市南区の会社役員若狭亮子さん（46）は「国民全体で議論を深め、平成で成し遂げられなかった改憲を令和で実現するべきだ」と語った。

残り：310文字/全文：951文字

憲法記念日に「護憲」「改憲」それぞれの主張は

HBC05月03日(金)17時23分

きょう5月3日は憲法記念日です。

施行から72年、札幌では憲法について考える集会が開かれまし

た。

札幌の大通公園では護憲派の市民団体が集会を開きました。参加者は、市内中心部をおよそ1時間にわたり行進し、憲法改正の反対を訴えました。

一方、午後からは保守系の団体が皇室と憲法について考える集会を開きました。

安倍首相は憲法9条に新たに自衛隊を明記する考えを示し、来年の改正憲法の施行へ引き続き意欲を見せています。

しかし、9条の改正は与党内でも慎重な意見が根強く、野党側も「憲法改正を議論する環境にない」などとして実質的な議論は進んでいません。

連休明けには国会で2度目の憲法審査会が開かれる予定ですが、夏の参議院選挙への影響を考慮し選挙が終わるまでは本格的な憲法論議は進まない見通しです。

憲法記念日 護憲派と改憲派が集会

HTB2019/05/03(金)17:51 掲載

天皇を象徴と位置付けた日本国憲法の施行から72年。令和最初の憲法記念日となる3日、札幌では憲法について考えるさまざまな集会が開かれました。

安保法制の廃止などを訴える「戦争をさせない北海道委員会」が開いた集会には、およそ750人が参加しました。

上田文雄・前札幌市長「憲法がいま最も危ない時期に来ている。決して戦争をする国をつくってはならないという決意をみんなです新たに作る日にしようではありませんか」

憲法改正に反対する男性（92）「憲法改悪なんでもってのほか。いまの安倍さんを含めて戦争体験者でないでしょう。戦争の悲惨さとか、むごさとか（知らない）」

その後、参加者たちは札幌の中心部をデモ行進し、安倍総理が目指す憲法9条改正などへの反対を訴えていました。

いっぽう、保守系の日本会議北海道本部などによる「美しい日本の憲法をつくる道民の会」も集会を開き、およそ300人が参加しました。

皇学館大学松浦光修教授「憲法9条の改正は間違いなく喫緊の国防上の課題でありますけれども、皇室の重要な祭祀を国家の祭祀として憲法上正しく位置付けること。それも日本を本来の日本にもどすためにどうしても必要」

そのうえで松浦教授は「天皇を元首と位置づけるべき」として、憲法改正の必要性を訴えました。

改憲に賛成する女性（91）「やっぱり憲法を改正して、（天皇を）元首にして、9条を改正して日本を守るようにしなければ。この目の開いている間に改正してもらいたい」

「令和」初の憲法記念日 改憲派・護憲派が集会 札幌

北海道STV2019.05.03 16:17

3日は令和になって初めての憲法記念日です。札幌市内では護憲派・改憲派がそれぞれ集会を開きました。

札幌の大通公園で開かれた護憲派による集会。「自衛隊」を明記する憲法9条の改正案について、参加した上田文雄前札幌市長な

どが反対の声を上げました。

(上田文雄 前札幌市長)「この憲法がいま最も危ない時期にきている」

一方、札幌市内のホールで開かれた改憲派による集会にはおよそ200人が集まりました。改元にあたり、上皇ご夫妻の歩みとともに平成を振り返ったほか、これからの憲法の「ありかた」について専門家が講演を行いました。憲法改正の是非は、夏の参議院選挙の争点としても注目されます。

北海道) 憲法理念、血肉化を 弁護士・池田賢太さん

朝日新聞デジタル 斎藤徹 2019年5月4日 03時00分



池田賢太さん＝札幌市中央区

憲法との出会いは、大学時代にさかのぼる。2003年に米軍などがイラクに侵攻し、イラク戦争が勃発。小泉純一郎首相(当時)は軍事行動を支持し、大規模戦闘終了後、自衛隊をイラクに派遣した。04年、派遣中止を求めて市民ら約3200人が国を訴えた名古屋地裁の訴訟に、原告の1人として加わった。

「憲法学の講義では、憲法は、実生活の中でどう生かしていくかが重要だと教わりました。憲法に照らし、主権者とはどうあるべきか、たえず意識し、憲法の理念を血肉化することが大事なんだと。自衛隊のイラク派遣に声を上げなければ、日本国民である私も戦争の加害者になるかもしれない。訴訟では、平和のうちに生きる権利、平和的生存権も訴えました」

一番の名古屋地裁は敗れたが、この時の経験から弁護士になると決めた。法科大学院に進学後、08年、名古屋高裁が自衛隊派遣を憲法9条違反と判断し、平和的生存権を認める初めての判決を出した。弁護士になってからも、自衛隊の南スーダン派遣差し止め訴訟などの弁護士として、憲法訴訟に関わり続ける。

「憲法は、人類が長い歴史の中…

残り：851文字／全文：1301文字

憲法記念日で青森市民集会

ATV5月3日 19:45

青森県青森市の青森駅前公園で開かれた集会には、青森県九条の会や憲法ネットあおもりなど11の団体や市民、約200人が集まりました。3日は各団体の代表がリレートークを行なって平和憲法の大切さを訴え、安倍総理が進めようとしている憲法改正に反対するとして集会アピールを採択しました。憲法改正については、安倍総理が2020年の改正憲法施行を目指していて、夏の参院選後にも議論が本格化すると見込まれています。青森県九条の会を含む市民団体などは今後、9条の改憲に反対する署名を全国であわせて3000万人分集め、国会へ提出することを目指しています。

岩手) 「平和のため貧困・格差の解消を」憲法記念日講演

朝日新聞藤谷和広 2019年5月4日 03時00分



横断幕を持ってデモ行進の先

頭を歩く宇都宮健児弁護士(左から3人目)。「憲法を変えずに、政治を変えよう」と訴えた＝2019年5月3日、盛岡市



憲法の理想に現実を近づけるために政治が果たすべき役割とは何か――。憲法記念日の3日、盛岡市の岩手教育会館で元日弁連会長の宇都宮健児弁護士が講演、「戦争の原因である貧困や格差、差別をなくすこと」こそが、憲法の理念である「積極的平和」につながることを説いた。

戦争放棄をうたった9条改憲に反対する市民団体の主催。約400人が熱弁に耳を傾けた。

宇都宮さんは「安倍政権下で非正規労働者が約300万人増えた」「岩手の最低賃金762円は韓国の一律最低賃金835円より低く国内34県が同じ状況にある」「可処分所得122万円以下で生活する人は全国民の約16%に上る」などの統計を指摘。

「健康で文化的な最低限度の生活を保障する憲法25条が空洞化している」と強調したうえで、「積極的平和とは貧困や格差の拡大という構造的暴力をなくすこと。(軍事力を認める)安倍首相の平和主義のとらえ方は間違っている」と訴えた。

講演後のデモ行進にダウン症の長男と参加した盛岡市のパート平井憲子さん(45)は「息子が差別や嫌がらせを受けないような、個人が尊重される社会になってほしい」と話した。(藤谷和広)

憲法記念日 「今の憲法守ろう」と集会／岩手・盛岡市

IBC 2019年05月03日 16:00 更新

3日は憲法記念日です。憲法改正の是非について議論がある中、今の憲法を守ろうという集会が岩手県盛岡市で開かれました。集会を開いたのは県生協連や、平和環境岩手県センターなど130団体で組織する市民の会です。集会では日本弁護士連合会の元会長で、貧困問題などに取り組む弁護士の宇都宮健児さんが講演。宇都宮さんは「平成は貧困と格差が広がった時代だった」とし、「全ての国民に健康で文化的な、最低限度の生活をする権利を保

障する憲法に、現実を近づけていかなければならない」と指摘しました。集会にはおよそ400人が集まり、熱心に耳を傾けていました。

憲法の大切さ ゲームで学ぼう 弁護士ら製作、体験会

東京新聞 2019年5月3日 朝刊



憲法ボードゲームを体験する参加者ら

2日、大阪市東淀川区で

憲法の理念を忘れ不幸になった都市を、みんなで協力して救え！小学生から大人まで遊びながら憲法の大切さを学べるボードゲームを、「明日の自由を守る若手弁護士の会」（あすわか）のメンバーらが製作している。2日、大阪府で試作版の体験会が開かれた。（小形佳奈、杉戸祐子）

「東京は『政府のやっтерことを知ろうとしたら捕まります』だって』『テレビは一つのチャンネルしか見られない』も出てきた」「やばい。行って助けないと」。体験会で親子連れら十五人が三つのグループに分かれ、日本地図の描かれたボードを囲んだ。

ゲームの設定はこうだ。

とある時代の日本。北は網走から南は沖縄まで、十二の都市で市民が悪い魔法使いのせいで憲法を忘れ、憲法の条文に関連した「不幸」に襲われる。東京は集会や結社、表現の自由、検閲の禁止などを定めた憲法二一条がテーマだ。

プレイヤーは各都市間で駒を動かし、サイコロを振って「kenpoバリア」を張って回る。防御に成功すると「もう戦争しません」（広島、九条）、「みんな人間らしく生きていくことができる」（仙台、二五条）など、理念に基づいた暮らしを取り戻せる。

一緒に遊ぶ相手は敵ではなく、協力し合う仲間。体験会では、東京の防御に成功して「好きなことを話し、みんなで集まれる。知る権利もあるよ」と二一条を分かりやすく解説するカードを獲得すると、歓声が上がった。

参加した大阪市天王寺区の小学五年塩山素佳（もとか）君（10）は「難しかったけど楽しい。憲法がないと危険だと分かった」。ゲームで「一年（のうち）三百六十日働く」という「不幸」に驚き、勤労の権利を規定した二七条の大切さを知ったという。神戸市西区のマンション管理人堀口康介さん（33）は「憲法があるから今の生活ができていますと実感した」と話した。

ボードゲームは、あすわか武井由起子弁護士（51）が、子どもにも分かりやすく条文の意味や役割を学んでもらうツールとして、ボードゲーム製作の実績があるまちづくりコンサルタント安藤哲也さん（36）＝川崎市＝に協力を要請し、二年かけて開発した。

自身は「九条しか知らなかった」という安藤さん。「当たり前にあるはずの憲法がなくなったらどうなるか、ゲームで想像できれば、大切さに気付く」と考えた。武井弁護士は「憲法がないと

大変、と共感できるゲームになった」と手応えを語る。

今月末からクラウドファンディングで印刷代や部品代を集め、八月の発売を目指す。価格は一セット四千円前後になる予定。クラウドファンディングのサイトは、「キャンプファイヤー」で検索。

十二日には東京都千代田区内神田一の「シャン・ドゥ・ソレイユ」で体験会を開く。参加費は大人千円、小中高生五百円。「憲法ボードゲーム」のフェイスブックから申し込める。



ゲームについて説明する開発者の

安藤哲也さん（中）、弁護士の武井由起子さん（右）ら＝東京都千代田区で

しんぶん赤旗 2019年5月4日（土）

9条変えるな 政治を変えろ 各地で行動



（写真）「アベ政治を許さない」のポスターを掲げる参加者たち

3日、東京都千代田区

「アベ政治を許さない」のポスターを掲げる定例行動が3日、全国各地で取り組まれました。作家の澤地久枝さんが呼びかけ、毎月3日に行われているもので、東京都千代田区の国会正門前にはたくさんの人が駆けつけました。

同日の行動では、国会前での右翼団体の街宣車に活動を妨げられ、「今日は憲法記念日です。今、皆さんが目にしたような事も、この国ではまかり通っています」と、澤地さん。「でも私たちは挑発に乗らず、『アベ政治を許さない』のポスターを掲げるだけの一番弱い形ですけれども、この行動を大事にしていきたい」と語りました。

澤地さんのファンで今年1月から参加していると話す女性（74）＝茨城県土浦市＝は「9条は絶対変えてほしくない。争いのない世界がいい。変えるべきは政治だと思います。もっと国民に開けた政治をするべきです」と話しました。埼玉県所沢市から参加した女性（69）は「今回は大きめの妨害があったけど、あんな行動が認められるのは、疑問に思う」と感想を述べました。

9条巡り主張交錯 憲法記念日 護憲派と改憲派が集会

神奈川新聞 2019年05月04日 05:00

令和に改元され初の憲法記念日となった3日、護憲派と改憲派の集会在県内外で開かれた。安倍晋三首相が目指す9条改憲を巡り、護憲派は平和主義の崩壊に危機感を表明。改憲派は2020年に改正憲法を施行する目標を支持した。日本国憲法施行から7

2年、今年もそれぞれの主張が交錯した。

「戦力不保持を無効化」 改憲派 横浜に800人



憲法9条の意義を訴えた

「5・3県民のつどい」＝横浜市西区

憲法の理念や意義を再確認し、平和主義を次代へ継ごうと、「5・3県民のつどい」が、横浜市西区の県立青少年センターで開かれ、市民ら約800人が参加した。「憲法改悪阻止神奈川県連絡会議」（神奈川県憲法会議）が1993年から開催し、今年で27回目。

集会では、憲法学者の成澤孝人・信州大学教授が「日本の平和に憲法9条が果たした役割 9条に自衛隊を書き込むことの意味」と題して講演した。

成澤氏は、安倍政権が掲げる憲法改正の論点を巡り、第9条1、2項を残しつつ、自衛隊を明文化する点に焦点を当て、「安全のために必要な自衛の措置のための実力組織を認めてしまえば、戦力不保持の規定は無効化される」と指摘。「2015年制定の新たな安保法制を合憲化することになると、政権側の意図を解説した。

その上で、憲法9条の意義について「安全を守るためには、隣国と仲良くするのが最も現実的だという至ってシンプルな規範」と、平和主義の普遍性を強調。自衛隊明記論の問題点として、「安倍首相の言う積極的平和主義は抑止、軍事力による平和。国際社会のパワーバランスが崩れたときには、戦争になる」との認識を示した。

衆院憲法審査会は憲法改正を問う国民投票時の政党CM規制の在り方について意見聴取するため、大型連休明けの9日に民放連幹部を参考人招致すると決めており、集会では締めくくりに「憲法を護（まも）り、憲法を遵守（じゅんしゅ）させるのは私たちです」と呼び掛けるアピールを採択した。

「軍国主義的国づくり」 護憲派 120人が小田原に



講演する永山さん＝小田

原合同庁舎、2019年5月3日撮影

小田原市内では護憲派による「第15回憲法記念日のつどい」が開かれた。「憲法を守り生かす西湘共同センター」の主催で、約120人（主催者発表）が参加した。

東海大教授で「九条科学者の会」事務局長の永山茂樹さんが「安

倍9条改憲の危険性」と題して講演。安倍首相や自民党が目指す9条への自衛隊明記や緊急事態条項の創設など改憲4項目を「軍事主義的・権威主義的な国づくりだ」と批判した。

また、「自衛隊が違憲といわれる中、隊員に命を張ってくれとは言えない」とする首相の国会答弁を引き合いに「合憲にする代わりに命を捨ててほしい、と言ったに等しい」と言及。自衛隊を9条に明記することは自治体を服従させる効果があり、政権にとっては「一つの突破口になる」と指摘した。

参加した湯河原町の男性（66）は「矛盾が明確になり、安倍政権に余裕がない状況がよく理解できた」と感想を話した。

改憲派も都内で集会 自衛権の位置づけを

神奈川新聞 2019年05月04日 05:00



「自衛隊の違憲論争に終止符を打つ」と

語る安倍晋三首相のビデオメッセージを見つめる来場者ら＝3日午後、都内

改憲派が東京都内で開いた集会「公開憲法フォーラム」には、県内外から1100人（主催者発表）が詰めかけた。安倍首相はビデオメッセージで「2020年の新憲法施行」を目指す方針を改めて表明。自民党憲法改正推進本部の下村博文本部長をはじめ、公明党憲法調査会の遠山清彦事務局長ら与野党幹部が登壇し、改憲の必要性を訴えた。

今年で21回目となる集会は、『21世紀の日本と憲法』有識者懇談会（民間憲法臨調）と「美しい日本の憲法をつくる国民の会」（国民の会）の共催。同会は、改憲を主張する学識者や文化人らで構成する「民間憲法臨調」と、国内最大の右派団体「日本会議」の主導で14年10月に設立された。

県内からは希望の党代表の松沢成文参院議員が登壇し、持論の改憲案を披露。安倍首相が掲げる「9条の2」を創設し自衛隊を明記する案について、「これでは不十分。現行9条2項を改正し『自衛権』を位置づける必要がある」と訴えた。

国民の会共同代表の桜井よしこ氏は、基調提言で「くだらない憲法を押し付けられた悔しさを乗り越えなければならない」と述べた。

新時代の憲法の姿めぐり主張展開 県内でも護憲、改憲両派が集会

新潟日報 2019/05/03 20:10

憲法記念日の3日、全国各地で憲法を考える催しがあり、新潟県内でも護憲、改憲両派が集会を開いた。安倍晋三首相が改正憲法施行を目指す2020年は来年に迫る。「9条を守れ」「時代に即した改正を」。令和の新時代の憲法の姿をめぐり、両派はそれぞれの主張を展開した。

新潟「憲法くん」の心、伝える映画 全国で順次公開

朝日新聞岩波精 2019年5月3日 03時00分



原作 を手がけた芸人の
松元ヒロさんは「憲法はただの法律の親玉じゃない。主権者の私たちが国を縛るものなんです」と語る



「わたし憲法くんです。姓は日本国、名は憲法、日本国憲法です」。そんな語りで始まる映画「誰(た)がために憲法はある」が4日から、県内でも公開される。原作は芸人の松元ヒロさん(66)が憲法を擬人化した一人芝居だ。改憲に向けた動きが現実となりつつあるいま、松元さんは「憲法は本当に素晴らしい。僕はそれを言い続ける」と語る。

松元さんは一人芝居「憲法くん」を2年前から演じている。初演のころに50歳だった憲法くんは、3日の憲法記念日で72歳。映画にしたいと提案を受け、「憲法を一人でも多くの人に伝えたい」と快諾した。

映画で憲法くんを演じるのは俳優の渡辺美佐子さん(86)。一人芝居とドキュメンタリーを織り交ぜながら映画は進む。

映画の冒頭、渡辺さんは憲法く…

残り：600文字／全文：914文字

憲法記念日 「憲法とは」映画で問う 渡辺美佐子さんらの活動記録 上越・高田世界館でありますから上映 /新潟

毎日新聞 2019年5月3日 地方版

憲法記念日(3日)に合わせ、上越市の映画館「高田世界館」で4日、日本国憲法とは何かを改めて見詰め直すドキュメンタリー映画「誰がために憲法はある」が封切られる。4月28日には先行上映があり、井上淳一監督が駆け付けて舞台あいさつした。本上映は4日から17日まで。【浅見茂晴】

物語は、主演の渡辺美佐子さん(86)らベテラン女優が中心となり、33年にわたり全国各地で公演してきた原爆朗読劇の姿を描く。今年で活動に幕を閉じるのを前に、参加した女優たちのそれぞれの思いが語られる。

渡辺さんは、初恋の人が疎開先の広島で原爆で亡くなっていたことを1980年に知り、この朗読劇を始めた…

残り 491文字 (全文 777文字)

UX 新潟テレビ 2019.05.03

憲法記念日 護憲派がピースウォーク

憲法記念日に合わせて新潟市では、市民が日本国憲法の尊重を訴

えながら街を歩くピースウォークがありました。今年で12回目となり50人ほどの市民が参加。約3kmの道のりを「活かせ！憲法9条」といったのぼりを掲げながら練り歩きました。安倍総理は憲法改正への強い意欲を示している、夏の参院選後、議論が本格化するとみられます。

山梨) 平和や人権 甲府でも憲法記念日に集会 朝日新聞野口憲太 2019年5月4日 03時00分



プラカードを掲げながらパ

レードをする参加者ら=2019年5月3日、甲府市のJR甲府駅北口よっちゃばれ広場

憲法記念日の3日、市民団体や労働組合などによる「5・3憲法集会 in やまなし」が、甲府市のJR甲府駅北口「よっちゃばれ広場」で開かれた。約200人が参加し、市民のほか立憲民主、国民民主、共産、社民の各党から県組織幹部らがマイクを握った。

登壇した弁護士雨松拓真さん(35)は、米軍普天間飛行場(沖縄県宜野湾市)の移設計画に伴い、名護市辺野古で土砂投入が進んでいることに触れた。

「何度も基地建設『反対』の民意が示されているのに、政権は問答無用で進めている。憲法が改正されて軍事的な価値が書き込まれたら、憲法の名のもとに私たちの人権や生活がどんどん制約される。そんな社会にはいけない」

安保法制に反対する市民団体の…

残り：159文字／全文：455文字

「憲法記念日」憲法の大切さを訴える

山梨放送 2019.05.03 18:19

憲法記念日の3日、県内の護憲団体などは集会を開き、改めて憲法の大切さを訴えた。

「5・3憲法集会 in やまなし」は、県内の護憲団体や政党、市民団体などでつくる実行委員会が毎年開いている。

参加者らは、安倍政権のもと改憲議論が進んでいることに危機感を示した。

また、集団的自衛権の行使を認めた安保法制や、いわゆる「共謀罪」の即時廃止を求めていくことを決議した。

一方、野党の県組織は、夏の参議院選挙に向け統一候補擁立を目指して協議を進めていると説明し、結束を呼び掛けた。

集会後、参加者は甲府駅周辺をう約1キロにわたりパレードし、「憲法9条を守ろう」などとシュプレヒコールを上げた。

長野) 差別との闘い証言 上田の作家・伊波敏男さん

朝日新聞北沢祐生 2019年5月4日 03時00分



沖縄のこと、憲法のことを話す伊波敏男さん=佐

久市



法の下での平等や基本的人権の尊重をうたう日本国憲法は3日、施行から72年を迎えた。しかし、その憲法下で強制隔離や漸種といったハンセン病患者の人権を蹂躪(じゅうりん)し続けてきた法律が、20年余り前まで存在した。ハンセン病回復者で作家の伊波(いは)敏男(76)=上田市=は、「人権問題」としてのハンセン病とともに、出身地・沖縄の問題や戦争の不条理を告発してきた。今秋、長野を去る伊波のメッセージを、ここで伝えたい。

抑制のきいた、それでいて力のこもった言説で、伊波はハンセン病によって自身が受けてきた差別と、闘争の歴史を語った。

4月20日、北陸新幹線の佐久平駅に近い会議室に若い研修医や教師たち15人が集まった。県厚生連・佐久総合病院の医師、色平哲郎(59)らが企画した連続講演会の2回目。ことし11月に19年ほど暮らした上田市を離れ、故郷・沖縄へ住まいを移す伊波の最後のメッセージを心にとどめようと昨年末から始めた。8月が最終回となる。

「国民の無関心が、国の過ちを…
残り：2491文字／全文：2912文字

県弁護士会 「憲法の意義見直す必要」 会長が談話発表 /長野

毎日新聞 2019年5月3日 地方版

県弁護士会(相馬弘昭会長)は2日、3日の憲法記念日に合わせて憲法に関する会長談話を発表した。相馬会長は記者会見で、憲法が「人権救済に大きな役割を果たしてきた」と評価した上で、「価値観が多様化し、社会が複雑化する中、憲法の意義を見直す必要がある」と訴えた。

県弁護士会は、旧優生保護法下で不妊手術を強いられた障害者や法律婚が認められない同…

残り 254文字 (全文 423文字)

憲法記念日に安田純平さんが講演

SBC(03日 18時 32分)

憲法記念日のきょう、シリアで武装勢力に拘束された経験があるジャーナリストの安田純平さんが松本市で講演し、「戦争をしな

いたため、憲法で枠をはめておくことは必要」と訴えました。



信濃毎日新聞の元記者で現在はフリージャーナリストの安田さんは、内戦下のシリアで武装勢力に3年4か月にわたって拘束され、去年10月に解放されました。

「私にとっての『憲法・戦争・ジャーナリズム』」と題して講演した安田さんは、解放後に「自己責任」と批判されたことについて、「自己責任だから政府のいう通りにしろとの理論に入れ替わっている」と述べました。

また、改憲の動きについて「戦争はやめようと思わないと終わらない。

『やめるんだ』と決めたのが今の憲法で、憲法で枠をはめておくことは必要」と指摘しました。

講演は中信地方の市民団体が企画し、およそ350人が憲法の意義について考えていました。

新時代 憲法考える一日 県内各地でイベントや講演会

信濃毎日新聞 5月4日



朗読劇で憲法9条の大切さを訴える出演者ら

3日、令和となって最初の憲法記念日を迎え、県内各地で関連するイベントや講演会が開かれた。改憲問題や教育などをテーマに、新たな時代にどう平和を築いていくかをそれぞれに考えた。

諏訪地方の護憲団体と個人でつくる諏訪地方憲法集会は諏訪市内で憲法9条の大切さを訴える朗読劇を披露した。自民党が目指す憲法9条への自衛隊明記などの改憲に反対しよう―と初めて企画。メンバーや公募で参加した計39人が出演した。

劇作家らの「非戦を選ぶ演劇人の会」が2018年に都内で初演した朗読劇「それを認めちゃ『9条』じゃなくなる―一平和憲法サバイバル大作戦!」を一部アレンジした。物語は改憲の是非を問う国民投票が迫った時期に、主人公の男子大学生が改憲派や護憲派、戦争経験者らの意見を聴く中で憲法への理解を深める内容。主人公は最終的に、憲法を変えるのではなく、憲法に合わせて現実を変えることが大事―と結論付けた。

朗読劇は、同集会在3年から開いている諏訪地方憲法フェスティバルの一環で、約180人が聴いた。茅野市の女性(71)は「憲法に関心がない人にも分かりやすかった。普段、政治について話す機会がないが、こうした劇がきっかけになる」と話して

いた。

富山) 護憲派が改憲反対を主張 講演会も 憲法記念日

朝日新聞松原央 2019年5月4日 03時00分



憲法改正反対を訴える社民党県連

合や県平和運動センターのメンバーら＝2019年5月3日、富山市西町



3日の憲法記念日に合わせ、県内でも街頭でのアピールや講演会が行われた。

社民党県連合や県平和運動センターは同日、富山市中心部などで憲法改正への反対を訴えた。安倍晋三首相が提案している憲法9条に自衛隊の存在を明記する改正案について「武力行使の放棄や戦力の不保持が帳消しになる」と主張した。

2日夜には元朝日新聞記者のジャーナリスト、伊藤千尋さんが富山市内で講演。軍隊を廃止した中米・コスタリカを取材した経験などから「9条の大切さが理解されていないのは、民主主義教育や平和外交に憲法が積極的に活用されていないから」と指摘。「安倍政権のやり方に鍛えられ、日本国民も改憲の動きをはね返す力を身につけているはずだ」と話した。(松原央)

中日新聞 2019年5月4日

「平和主義」を考える 葵区で評論家講演

憲法記念日の三日、静岡市葵区の県労政会館で、評論家佐高信さんの講演会があった。平和主義を掲げる憲法の大切さを考えてもらおうと、市内の憲法九条を守る会などでつくる「しずおか憲法九条を擁護し実現する会」が主催し、市民ら二百五十人が耳を傾けた。

佐高さんは「日本国憲法の逆襲」と題して話した。憲法九条などの改憲を掲げる現政権を批判し、「軍隊が国民の命を守るといっているのは間違い。沖縄では日本軍が日本人の若者を殺し、天安門事件では人民解放軍が市民を殺した」と指摘。「非武装中立は空想的ではない。ものすごく現実的だ」と語った。

(瀬田貴嗣)

愛知) 改憲すべき? 市民団体が若者にアンケート

朝日新聞山本知佳 2019年5月4日 03時00分



アンケートに答える若者ら＝

3日午前9時26分、名古屋市中村区、山本知佳撮影

憲法記念日の3日、名古屋市中村区の名鉄名古屋駅近くで、市民団体が若者を対象にした憲法に関するアンケートを実施した。

「愛知県平和委員会」の青年・学生部が毎年行っており、今年で24回目。若者に憲法へ関心を持ってもらおうと始まった。今回は、10～20代を中心とした男女108人から回答を得た。

「憲法についてどう思うか」の問いには、「変えるべき」「どちらかといえば変えるべき」が17・6% (19人) に対し、「変えるべきでない」「どちらかといえば変えるべきでない」は23・1% (25人) だった。一方で、「分からない」は59・3% (64人) に上った。変える理由は「今の時代にあわなくなっている」、変えない理由は「今平和だから」などがあがった。

9条については、61・1% (…

残り：190文字/全文：510文字

「憲法を変えるべきかどうか」など若者に憲法アンケート 名古屋駅前

CBC5月3日 11:55

5月3日は憲法記念日です。

名古屋駅前では、若者100人を対象に憲法に関するアンケートが行なわれています。

「5月3日は何の日ですか」という質問から始まるアンケート。愛知県の市民団体が、若い人に平和について考えるきっかけを作ろうと毎年、憲法記念日にアンケートを行っています。

アンケートは10代から20代の100人を対象に、憲法を変えるべきかどうかや、戦争放棄を明記した9条の条文についてどう思うかなどの質問が並んでいます。

「みどりの日だと思った。荒れているわけでもないのに、今の憲法のままでもいい」(中学1年生)

「変えていいと思う。アメリカとの関係が表現しきれっていない。時代に合わせて変えるべき」(大学1年生)

主催した市民団体は、「これを機に憲法と平和への意識を高めて欲しい」と話していました。

三重) 憲法を考える企画、各地で開催 講演やビデオ上映

朝日新聞三浦惇平、中根勉 2019年5月4日 03時00分



講演する笹沼弘志教授＝2019

年5月3日午前10時33分、津市一身田上津部田



憲法記念日の3日、三重県内各地で、憲法について考える催しが開かれた。

津市の県生涯学習センターでは「5・3憲法を考える三重県民のつどい」（県憲法会議主催）があり、静岡大学の笹沼弘志教授（憲法学）が講演。参加者105人が耳を傾けた。

笹沼教授は格差の拡大や生活保護基準の引き下げなどに触れ、「日本国憲法が尊重するのは人権。全ての人の生まれながらの自由を尊重している」と語った。日本国憲法は「セーフティネット」の役割を果たしているといい、「生活保護を受ける人のためだけでなく、全ての人が自由に幸福を追求できるようにするためにある」と述べた。

参加した津市の殿林正行さん（…
残り：484文字／全文：756文字

小森陽一氏「自民改憲案、9条2項を否定」京都で憲法集会 京都新聞 2019年05月03日 21時28分



改憲反対を訴える

憲法集会（京都市東山区・円山公園野外音楽堂）

憲法記念日の3日、憲法の精神や9条の大切さを考える「5・3憲法集会」が京都市東山区の円山公園音楽堂で開かれた。府民ら約3300人（主催者発表）が訪れ、改憲反対を訴えた。

市民団体「憲法9条京都の会」などが主催した。「九条の会」事務局長の小森陽一・東京大大学院教授が講演し、野党各党はメッセージを寄せた。

小森教授は、集団的自衛権行使を容認する安倍政権を批判し、「平成という時代は、主権者である私たちが必死に運動していたから日本は戦争をしなかつた」と述べた。

昭和から平成の政治を振り返りながら、9条に自衛隊を明記する自民党の改憲案について「戦力不保持を定めた9条2項を否定している。この改憲案がどれだけ危険なのかということを、多くの人に訴えていかないといけない」と強調した。

参加者は集会終了後「9条生かして平和をつくろう」「みんなの声で未来を変えよう」などを声を上げながら、京都市役所までパレードを行った。

大阪でも護憲派、改憲派が集会 憲法記念日

毎日新聞 2019年5月3日 21時35分(最終更新 5月4日 02時48分)



憲法改正に反対し氣勢を上げる参加者たち＝大阪市北区で2019年5月3日午後2時52分、幾島健太郎撮影

憲法記念日の3日、護憲や改憲を訴える団体が各地で集会を開き、参加者はそれぞれの立場から声を上げた。一方、安倍晋三首相はこの日、東京であった改憲派の集会にビデオメッセージを寄せ、改めて「2020年改正憲法施行」に意欲を示した。

大阪市北区の扇町公園であった護憲派の集会「5・3輝け憲法！平和といのちと人権を！」には約2万人（主催者発表）が参加した。立憲民主、共産両党などの国会議員もマイクを握り、全員で「9条改憲NO！」とポスターを掲げて憲法への自衛隊の明記に反対する意思をアピールした。

主催者を代表して大阪憲法会議・共同センターの丹羽徹幹理事長は「首相が異例の記者会見をして改元の祝賀ムードを作った。東京五輪と合わせ『新しいことには良いことがある』という雰囲気の中で、改憲への動きを進めかねない」と危機感をあらわにした。

集会に参加した大阪市東住吉区の僧侶、長田譲さん（59）は「宗教教団は過去に戦争協力した苦い経験がある。平和を守るため声を上げ続けたいといけなく」と強調し、大阪府茨木市の保育園長、上西克明さん（54）は「子どもたちに平和な未来をつないでいきたい」と話した。



改憲派が主催する集会で講演を聞く参加者＝大阪市中央区で2019年5月3日午後3時9分、松本光樹撮影

一方、大阪市中央区の大阪府神社庁会館であった改憲を唱える「美しい日本の憲法をつくる大阪府民の会」の集会には約150人（主催者発表）が参加した。

防衛問題を研究する桜林美佐さん（49）は講演で、自衛隊を憲

法に明記する意味を説明し、「反対している人のところにも飛び込み、理解を得る姿勢が必要」と訴えた。

集会に参加した大阪市生野区の会社員男性(55)は「叔父が自衛官だった。災害も多くなり、活躍の現場が増えているのに憲法に明記されていないのはおかしい」。西区の無職女性(71)は「今の憲法は戦後押しつけられた憲法で、ゼロベースで作直すべきだ」と語った。【岡崎英遠、松本光樹】

しんぶん赤旗 2019年5月4日(土)

憲法守る行動、多彩に 総がかり 2万人集う 大阪



(写真) いっせいに

「9条改憲NO!」のポテッカーを掲げる集会参加者=3日、大阪市北区の扇町公園

大阪では大阪市北区の扇町公園で「5・3輝け憲法! 平和といのちと人権を! おおさか総がかり集会」(主催・おおさか総がかり行動実行委員会)が開かれ、2万人が参加しました。集会後、3コースに分かれてパレードしました。

二宮厚美神戸大学名誉教授がゲストスピーチし、安倍首相が狙う改憲をめぐる情勢やアベノミクスの破たんなどについて指摘。参院選の1人区で野党共闘が成功すれば国会で3分の2以上を狙う改憲派の野望は打ち砕けると強調しました。

日本共産党、立憲民主党、社民党の代表があいさつ。日本共産党の山下よしき副委員長・参院議員が「3000万人署名を大きく成功させ、市民と野党の共闘で自公と維新を少数に追い込み、安倍政権もろとも9条改憲のたくらみを葬り去ろう」と訴えました。

集会は、長野たかしさんと森川あやこさんによるミニコンサートで開会。元大阪弁護士会会長の石田法子さんら各分野から4氏がスピーチし、参加者全員で「9条改憲NO!」のポテッカーを掲げてアピールしました。日本共産党の清水忠史衆院議員、たつみコータロー参院議員、無所属で衆院大阪12区補選をたたかった宮本岳志前衆院議員も参加しました。

若者の8割 憲法記念日を誤答 学生らにアンケート

毎日新聞 2019年5月4日 01時10分(最終更新 5月4日 02時47分)



憲法改正に反対し氣勢を上げる参加者たち=大阪市北区で2019年5月3日午後2時52分、幾島健太郎撮影

平和運動に取り組む大阪平和委員会青年学生部が憲法記念日の3日、大阪市内で12~34歳の計112人にアンケートをしたところ、「5月3日は何の日か」との問いに正しく答えられなかった人が79%(89人)を占め、昨年の61%を上回った。

憲法9条について「変えるべきでない」「どちらかといえば変えるべきでない」と答えた人は68%(76人)だった。【林由紀子】

憲法記念日 親しみを 開発中のボードゲーム体験 東淀川で20人 /大阪

毎日新聞 2019年5月3日 地方版



ボードゲームを楽しむ参加者たち=

大阪市東淀川区西淡路1のコミュニティースペースで、隈元悠太撮影

憲法記念日前日の2日、大阪の若手弁護士らが、楽しみながら憲法に親しんでもらおうと開発中の「憲法ボードゲーム」の体験会を大阪市東淀川区で開き、約20人が参加した。

憲法の役割を市民に伝えることの難しさを感じていた「明日の自由を守る若手弁護士の会」のメンバーが、川崎市などでゲームを通じて地域の魅力を発信している安藤哲也さん(36)と共同で開発している。

魔法使いによって憲法が消されてしまい混乱に陥った日本が舞台上、リーゼント以外の髪形が禁止されたり、…残り338文字(全文564文字)

2019/5/3 11:00 神戸新聞 NEXT

「象徴天皇と憲法」内田樹さんに聞く 国民に寄り添う姿、天皇制の評価変えた



令和時代の憲法と天皇について語る内田樹さん

=神戸市東灘区(撮影・大森 武)

戦後施行された日本国憲法は昭和、平成の時代を経て、令和へ受け継がれた。上皇さまから天皇陛下への代替わりは、憲法1条が天皇を「象徴」と定めた意味について再考する好機になっている。きょう3日は72回目の憲法記念日。憲法と天皇の関係について、「街場の天皇論」などの著作がある思想家の内田樹(たつる)・神戸女学院大名誉教授に聞いた。

—象徴天皇の在り方への関心が高まっている。

「平成を代表する人物を選ぶなら、やはり先帝（上皇）ご夫妻になると思う。昭和が終わった時に同じ質問をしたら、長嶋茂雄とか、美空ひばりとか、石原裕次郎とかいう名前を挙げる人がいただろう。それだけこの30年間で天皇の存在感が増したということだろう」

「グローバル化が進む中で、道徳的な価値が顧みられなくなった。愛国心や家族愛を言い立てる政治指導者たち自身の道徳的な劣化が際立つ中で、道徳的な潔癖さを人格的に体現されたのがご夫妻だった。天皇制が国民的支持を得て存続するためには、天皇は政治的権威でも、審美的権威でもなく、道徳的な潔癖さを体現する存在でなければならないということを考えられたのだと思う」

慰霊と慰謝

—国民が特に共感した点は。

「2016年の退位に関する『お言葉』で示された『象徴的行為』論だ。象徴天皇の重要な仕事として、先の戦争で亡くなられた人たちの慰霊と、苦しむ同胞たちへの慰謝の2点を挙げられた。実際にかつての戦地に赴き、日本兵だけでなく、現地市民、米兵も含めてすべての戦没者のために祈られた。また、災害の被災者だけでなく、ハンセン病患者など社会から排除されてきた弱者にも行き届いた目配りをされた」

—内田さん自身は。

「東日本大震災後に出された先帝の心情あふれるメッセージと首相の官僚的の作文を読み比べた時、私自身の天皇制に対する評価は大きく変わったように思う。その後、激戦地ペリリュー島への慰霊の旅や東日本大震災の被災地で膝をつかれて被災者に寄り添うご夫妻の姿を見た時に、天皇制の意義について目が開かれた」

「それまでは、天皇制の存否についての国民的議論はあって当然だと思っていた。しかし、平成の30年の間に、近代的な立憲デモクラシーと太古的な天皇制という二つの政治原理は、何とか整合させられるのではないかと考えるようになった。どちらかに片付けてすっきりするより、立憲デモクラシーと天皇制という全く原理の異なるシステムを、どうすれば折り合いをつけ、共生させられるかについて知恵を絞る方が、国民の市民的成熟には資するのではないか」

陛下も継承へ

—秋篠宮さまが皇位継承に伴う重要祭祀（さいし）を巡り、政府の決めた国費支出に疑問を示された点については。

「良識的な発言だと思う。天皇の威信を担保するのは、華やかな儀礼ではなく、かたちにならない精神的なものであるべきだという皇室からのメッセージだったと思う」

—戦後生まれの陛下に対する期待は。

「戦後の昭和天皇と先帝は親子2代で象徴天皇制をゼロから制度設計された。それが今は国民の圧倒的多数によって支持されている。新帝（天皇陛下）もこのシステムをそのまま継承されると思う。先帝はしばらくは相談役として、引き継ぎに段差が生じないようにアドバイスされるかたちになるのではないか」

（聞き手・段 貴則）

憲法9条改正への賛否問う 岡山でも街頭シール投票

山陽新聞 2019年05月03日 20時06分 更新



9条改正への賛否についてシールで投票する市民ら

憲法記念日の3日、戦争放棄を掲げた憲法9条の改正に対して賛否を問う街頭シール投票がJR岡山駅周辺で行われた。憲法問題に関心を持ってもらおうと、学識者らが呼び掛けた全国投票の一環。

憲法に自衛隊を明記し、9条を改正することについて「反対」「わからない」「賛成」の3択で質問。岡山県実行委メンバーが、設問と回答を記したボードを通行中の家族連れや中高生らに示し、シールを貼ってもらった。

約1時間半で98人が投票。結果は反対66票、わからない18票、賛成14票で、5月中に安倍晋三首相と全国会議員に郵送などして伝える。

県実行委代表の野田隆三郎・岡山大名誉教授は「例年に比べ投票総数が少なく、憲法改正が現実味を増す中で国民の意識が高まっていないと感じる。皆で真剣に考えていきたい」と話した。

憲法記念日 護憲派と改憲派が集会

RCC2019.5.3 19:19

3日は憲法記念日です。今の憲法を維持することを主張する「護憲派」と、憲法の改正をめざす「改憲派」がそれぞれ広島市で集会を開きました。広島市中区では、護憲派の市民団体が集会を開き、およそ1000人が参加しました。集会では、TBSの番組「報道特集」でキャスターを務める金平茂紀さんが講演。天皇陛下の即位を巡るマスコミ報道について、「『政教分離』を定めた憲法との整合性を問う論調は少なかったのではないかと自問し、次のように述べました。（TBS「報道特集」キャスター 金平茂紀さん）「なぜ、あの時に今の内閣が出てきたんだろうとか、変な風に利用されていないか考える能力がすごく必要だと思う」集会では、憲法9条の改正に反対することなどを盛り込んだアピールが採択されました。一方、日本会議などで作る改憲派の団体は、安佐南区など県内4か所で同時に集会を開催。東京で開かれた「公開憲法フォーラム」の様子がインターネット中継で映し出されました。参加者は、憲法9条への自衛隊明記などを訴える安倍総理大臣のビデオメッセージを視聴しました。（県第3選挙区国民投票連絡会議 夢征成事務局長）「国会が動かないのであれば、国民の側から今の憲法を議論して、憲法を変えていこうということで、今までやってきました。これからもそういう姿勢でやっていきたいと思います」

リレートークや講演 「憲法のあり方」議論



改憲反対を訴えて長崎市内を練り歩く集会参加者ら＝長崎市桜町で 2019年5月3日午後3時46分、田中韻撮影



改憲派団体の集会で持論を述べた河添恵子氏＝福岡市中央区で 2019年5月3日午後3時2分、中里頭撮影

憲法記念日の3日、各地で護憲や改憲を訴える集会が開催された。新たな時代を迎え、参加者は憲法のあり方について思いをめぐらせた。

長崎市では護憲派が「ストップ改憲！守れ9条！ながさき集会」を開催。約360人が参加し、識者による講演やリレートークがあった。被爆者で長崎原爆被災者協会会長の田中重光さん(78)は「平和憲法は戦争で犠牲になった人たちの魂であり遺言だ。過去の過ちを繰り返さないためにも9条を守らなくてはならない」と訴えた。参加者は集会後、市中心部をデモ行進して改憲反対を訴えた。

北九州市小倉北区で開かれた憲法集会には約350人が参加。講演した沖縄国際大の前泊博盛教授は、戦後27年間にわたって米国の統治下に置かれた沖縄が米軍関係者による犯罪などに苦しみ、1972年の本土復帰でようやく憲法が適用された歴史を説明。そのうえで「米国のお仕着せと言わず、憲法のありがたみを再確認する必要がある」と語った。

一方、福岡市中央区では憲法改正を目指す団体の集会があった。ノンフィクション作家の河添恵子氏が講演し、IT分野で中国企業が急成長を続ける中、次世代移動通信規格「5G(ファイブジー)」の軍事転用を例に日本への脅威増大を指摘。「国民の生命を守ることを現行憲法は放置している。サイバー空間が主戦場になる中、国軍を持つことが基本的人権を守る第一歩だ」と訴えた。

【田中韻、下原知広、中里頭】

9条、新時代も論議 改憲派、反対派がアピール

西日本新聞 2019年05月04日 06時00分



「9条改憲反対」を訴え、練

り歩く参加者たち＝3日午後3時45分、長崎市

憲法記念日の3日、九州各地でも憲法について考える集会が開かれた。安倍晋三首相が掲げる憲法9条への自衛隊の明記は必要か。「周辺国の脅威が増している」「9条の理念が形骸化する」。市民はそれぞれの主張に耳を傾けた。

改憲派市民団体「美しい日本の憲法をつくる福岡県民の会」が福岡市・天神で開いた会合には約500人が参加した。ジャーナリストの桜井よしこ氏はビデオメッセージで、軍拡を続ける中国の脅威や米国の安全保障政策の変化に言及。「日本は今後、危ない局面が来るかもしれない。自国を守るためには(自衛隊の加憲など)憲法改正が必要だ」とアピールした。

福岡県小郡市から参加した元公務員の長谷川敬二さん(72)は「自衛隊の活動を尊重するには憲法に明記した方が良い。抑止力を増す機会になる」と語った。

一方、護憲団体「九条の会福岡県連絡会」が福岡市東区で開いた集会にも約500人が参加した。九州大大学院の熊野直樹教授(政治史)が講演し、南スーダン国連平和維持活動(PKO)の日報隠蔽(いんぺい)問題など、近年は政治家による統制が機能しないケースが目立つと指摘。「9条に自衛隊を明記すればさらに形骸化し暴走する恐れがある。沈黙せず、異議を唱え続けることが大切だ」と訴えた。

同市城南区の大学教員中嶋恵美子さん(62)は「当たり前にあるものだと思っていた平和憲法が危うくなっている。戦争がなかったのは9条のおかげ。守り続けていかないと」と話した。

長崎市では、被爆者団体や市民団体などでつくる「ながさき9条フェスタ実行委員会」が集会を開いた。参加者は市中心部を練り歩き、「憲法を変えるのではなく、政治を変えよう」と訴えた。

佐賀)護憲派、改憲派が集会 憲法記念日

朝日新聞 秦忠弘 2019年5月4日 03時00分



護憲派の集会で講演する河上暁弘

さん＝2019年5月3日、佐賀市兵庫北3丁目



憲法記念日の3日、佐賀県内でも護憲派と改憲派がそれぞれ集会を開いた。

佐賀市のメートプラザ佐賀では労働組合などでつくる「戦争をさせない佐賀県1000人委員会」主催の講演会があり、約320人（主催者発表）が訪れた。

広島市立大学広島平和研究所准教授の河上暁弘さんが講演し、「憲法は無謀な戦争など失敗を繰り返さないよう、国家権力を制限するためのもの。時の政権が一時の勢いに任せて憲法に手をつけるのは危険」などと語った。

一方、佐賀市文化会館では改憲を目指す日本会議佐賀などをつくる「佐賀県第一区・第二区国民投票連絡会議」が憲法改正講演会を開き、250人（主催者発表）が参加した。東海大学海洋学部教授の山田吉彦さんが「海洋大国日本 広大な海に秘められた可能性と緊迫する国境の島々」と題して話した。（秦忠弘）

＝憲法記念日＝護憲派と改憲派、県内で集会 「平和のカタチ」それぞれ主張

佐賀新聞 2019年5月4日 8:00



改憲反対を訴えてデモ行進

する参加者＝佐賀駅前中央



日本の海洋資源や外交に触れ、憲法改正について述べる山田吉彦東海大海洋学部教授＝佐賀市文化会館

新元号の令和になって初めての憲法記念日の3日、佐賀県内でも護憲派と改憲派がそれぞれ集会を開いた。安倍晋三首相が2020年の改正憲法施行を目指す中、中国や北朝鮮などの東アジア情勢を踏まえて改憲を支持する主張や、戦後から平成まで続いた平和をたどりながら戦争放棄を定める憲法9条の堅持を求める訴えが繰り返された。

市民団体の「戦争をさせない佐賀県1000人委員会」は佐賀市のメートプラザ佐賀で講演会を開き、約320人が参加した。河上暁弘広島市立大准教授（憲法）は「現行憲法は無謀な戦争や人権侵害を二度と繰り返さないという切実な要求が盛り込まれ

ている」との認識を示しつつ、「元号が新しくなったムードに流されず、冷静な議論が求められる」と呼び掛けた。

自衛隊を9条に明記する安倍首相や自民党の案に触れ「9条の下で自衛隊は軍事面を抑制され、今の平和につながっている。明記すると歯止めがなくなってしまう」と指摘した。参加者は市街地でデモ行進し、「平和憲法の改悪を許さない」と氣勢を上げた。

憲法改正を訴える市民団体「佐賀県第一区・第二区国民投票連絡会議」は、山田吉彦東海大海洋学部教授の講演会を佐賀市文化会館で開いた。約250人が参加し、日本の外交や海洋資源の視点から今後の憲法の在り方を考えた。

山田氏は、日本は排他的経済水域（EEZ）が広く、次世代資源として注目されるメタンハイドレートなど海底資源も豊富であることを説明。「国民が幸せに生きていくために海を守る態勢が必要。憲法を改正し、国の威厳を世界にアピールすることが求められる」と強調した。北朝鮮による日本人拉致問題なども挙げ「早く憲法改正に目を向けていけば、合理的に国を守ることができていたかもしれない」と述べた。

長崎 ながさき9条フェスタ 憲法改正の問題点指摘

朝日新聞田部愛 2019年5月4日 03時00分



集会後にパレードする参加者たち

＝2019年5月3日午後3時35分、長崎市内、田部愛撮影

憲法記念日の3日、改憲に反対する市民が集まった「ながさき9条フェスタ」が長崎市桜町の長崎県勤労福祉会館であった。主催者発表で約360人が参加し、憲法学者の飯島滋明・名古屋学院大学教授が講演。改憲した場合の影響や、改憲の手続きの問題点などを語った。

飯島教授は、自衛隊が憲法に明記されれば「なり手が少なくなった時、憲法上の組織を維持するのは政府の責任だとして、徴兵制を持ち出されても反論が難しくなる」と指摘した。

また、憲法改正の手続きを定めた国民投票法で、賛否をよびかけるテレビCMを投票日の15日前まで自由に放送できることなどを説明。「有名人を起用すれば影響される人も多い。お金のある政党に有利な状況が生じかねず、国民の意思がゆがめられる可能性がある」と批判した。

集会後、参加者は「ストップ改憲！ 守れ9条！」などと書かれた横断幕を掲げてパレードした。（田部愛）

NBC05月03日 19時28分

憲法記念日に「憲法9条を守ろう」と訴える集会【長崎市】

安倍総理が憲法改正に意欲を見せるなか憲法記念日の3日、長崎市では「憲法9条を守ろう」と訴える集会が開かれました。

長崎市の市民団体らが開いた『9条フェスタ』には約360人が

参加しました。

安倍総理は憲法9条に自衛隊を明記することなどを含んだ憲法改正を行い、2020年に施行することを目指しています。

集会で講演した名古屋学院大学の飯島滋明教授は「憲法上の組織である自衛隊を維持するのは政府の責任だ。そのために徴兵制を敷くのは政府の義務だ。と言われた時に、私たちはそれに対して違うと言えるのかどうか。自衛隊を憲法に明記するというのはこういった根拠を与えることになるのです」などと話しました。

また集会の中で、被爆者で長崎被災協の田中重光会長は「日本は平和憲法に誇りを持ち、世界に広めるべきだ」と訴えました。集会では「憲法改正をストップさせるため市民の力を結集していく」とするアピールを採択したあと、参加者はプラカードなどを持って長崎市中心部をパレードしました。

憲法記念日 護憲派集会に市民360人

長崎新聞 2019/5/4 00:15/4 09:46updated



飯島教授の講演などを通して改憲の問題点を考えたフェスタ＝長崎市、県勤労福祉会館

憲法記念日の3日、護憲派の市民集会「ながさき9条フェスタ」(実行委主催)が長崎市桜町の県勤労福祉会館で開かれ、約360人が参加し改憲の問題点を考えた。

憲法・平和学を専門とする名古屋学院大の飯島滋明教授が基調講演。自衛官が不足する中、安倍晋三首相が意欲を示すように憲法に自衛隊が明記されれば「自衛隊の維持は政府の責務とされ、徴兵制に根拠を与えることになる」と指摘。国民投票についても14日前までCMが自由なため、資金力の格差が投票結果を左右する恐れがあるとして「自民党や財界の有利な状況が生まれかねない」と問題視した。

また長崎原爆被災者協議会の田中重光会長は「憲法は戦争犠牲者の魂の叫び、遺言だ。特に9条の精神を世界に広げることこそ日本の役割」と訴えた。集会後、参加者は横断幕を手に市中心部を歩き、改憲反対を訴えた。

熊本) 県内でも憲法集会 若い世代、憲法に求めるものは

朝日新聞渡辺七海 田中久稔 2019年5月4日 03時00分



自衛隊の憲法への明

記などを求めた憲法フォーラム in 熊本＝2019年5月3日 午後1時35分、熊本市中央区桜町、渡辺七海撮影

日本国憲法の施行から72年を迎えた憲法記念日の3日、熊本市でも憲法を考える集会が開かれた。憲法改正を求める立場や、今の憲法の理念を生かす立場から、様々な発言があった。

保守系団体「美しい日本の憲法をつくる熊本県民の会」や自民党が関わる「憲法フォーラム in 熊本」には約400人が参加した。

自民は今国会で国民投票法改正案の成立をめざす。衆院憲法審査会幹事の木原稔衆院議員は審議の促進に向け、衆参両院に請願書を出すよう呼びかけた。

学生団体「憲法をよくする学生…」
残り：832文字／全文：1048文字

憲法記念日 憲法を各地で議論

RKK2019年05月03日 18:53 現在

3日は憲法記念日です。

JNNは先月の世論調査で「憲法改正」について質問しました。その結果、今の日本国憲法を「改正すべき」は40%で、「改正すべきでない」の38%を上回っています。

県内では憲法改正に「賛成」「反対」とそれぞれの立場の集会が開かれました。

「憲法が施行されて70年以上が経ってこれまで一度も改正されたことがない現状と合わなくなってきた」(自民党木原稔衆院議員)

憲法改正を目指す自民党県連などが主催したフォーラムでは自分の国を自ら護る新しい憲法にと「自衛隊の明記」を軸に憲法改正の必要性を訴えました。

「とにかく早く(改正を)してほしい孫たちのために日本を守らなければという思いを強くした」「ほとんどの人は無関心。来てよかったとおもうし(改正の必要性を)伝えていきたい」(参加者)

一方、憲法を守る「護憲派」の集まりでは・・・

「我々が守るという意識や運動がなかったら、この72年間(憲法は)持ちこたえてこなかったんですね(秘密保護法廃止!くまもとの会代表猪飼隆明さん)

高校生から社会人までが参加したディスカッションでは自分の生活と憲法との関わりについて活発に議論が交わされました。集会に参加した人は。

「(改正には)絶対反対ですよ。せっかく先輩たちが平和を保ってきたのに、今だからこそ平和と憲法が必要だと思いますけどね」(参加者)

憲法改正を巡ってはことし夏の参院選で争点の一つとなります。立候補を予定する2人は次のように訴えました。

「国民の世論の中でより理解を深めていく作業はまだ途中経過。きょう集まった人たちと一緒にしっかりした議論の中で(憲法改正を)広げていかなければ。成熟した議論になっていない」(憲法改正を進める馬場成志氏)

「私自身は改憲が一切だめだとは思っていない。今の憲法で足り

ない部分もある。しかし、9条をいじることについては今の時点ですべきことではない」（九条改正に反対阿部広美氏）

憲法 72年護憲・改憲双方が集会

熊本県民テレビ 2019.05.04 10:25

日本国憲法の施行から72年を迎え県内では憲法について考える集会が開かれた。

熊本市の県民交流館パレアでは憲法を守る立場からの集会が開かれ、社会人や大学生、高校生がパネルディスカッションを行った。この中では、道徳の授業に憲法教育を取り入れるという提案や自分の考えを自由に発言できる今の社会も憲法に守られているという指摘などが出された。最後に日本国憲法を守り平和の中で自分らしく生きる社会を実現するという宣言を採択した。

一方、改憲を主張する市民団体と自民党熊本県連の合同の集会が熊本市で開かれた。出席した自民党の木原稔衆院議員は「多くの国民はもうすでに憲法改正をのぞみそして自衛隊明記についても望んでいる」として憲法9条に自衛隊の存在を明記するべきだと訴えた。そのうえで憲法改正には国民全体で議論をすることが不可欠だとして憲法改正の思いを請願として国会に届けてほしいと呼びかけた。

憲法記念日に改憲、護憲考える 熊本市で集会、9条めぐり議論

2019/5/4 08:00 熊本日日新聞社



改憲派市民団体などが開いた「憲法

フォーラム」＝3日、熊本市中央区



護憲派市民団体の集会でパネル討

論する若者ら＝3日、熊本市中央区

憲法施行から72年を迎えた憲法記念日の3日、改憲、護憲派の各市民団体などが熊本市中央区でそれぞれ集会を開き、安倍晋三政権が議論を進める憲法改正の是非について考えた。

自民党県連や改憲派市民団体でつくる実行委は「憲法フォーラム」を市民会館シアーズホーム夢ホールで開き、約350人が参加した。

ジャーナリストの桜井よしこ氏がビデオメッセージで「中国やロシアが膨張主義に走っており、自力で国を守る必要がある」と憲法9条に自衛隊の明記を主張。元財務副大臣の木原稔衆院議員（自民党、熊本1区）が登壇し、「国会で改憲論議が進んでいない。国民が請願などでプレッシャーをかけてほしい」と訴えた。

同市西区の無職、土生 [はぶ] 誠さん（66）は「自衛隊は彼

災地などで活動しており、合憲か違憲かを議論する段階ではない。憲法に明記すべきだ」と語った。

一方、護憲派の約20団体でつくる熊本憲法記念行事実行委は、県民交流館パレアで「憲法をまもる県民のつどい」を開き、約350人が参加。

弁護士の阿部広美氏が講演し、「実際に戦地に派遣されるのは自衛隊員だが、改憲派は当事者意識を置き去りにして、改憲ありきの雰囲気を広めている」と指摘。阿部氏や大学生ら5人のパネル討論もあり、「憲法は空気のような存在。改憲の実感がない若者も多いが、国の根幹に関わる重要な問題だ」と意見を交わした。

同市中央区の会社員、高崎裕樹さん（27）は「自衛隊はずっと存在してきたのに、なぜ今すぐに改憲が必要なのか、安倍首相の説明を聞いても分からない。拙速な改憲には反対だ」と述べた。

（堀江利雅、中島忠道）

大分) 憲法記念日 護憲派と改憲派、それぞれが講演会

朝日新聞小林圭 2019年5月4日 03時00分



護憲派の講演を聴く参加者＝201

9年5月3日、大分市、小林圭撮影



日本国憲法が施行されて72年となる憲法記念日の3日、大分県内でも護憲派と改憲派が、それぞれの立場を訴える講演会を開催した。

大分市の県教育会館では、日本体育大の清水雅彦教授（憲法学）が「改憲阻止に何が必要か」をテーマに講演。「平和憲法を守る会・大分」の主催で、350人（主催者発表）が聴き入った。

清水教授は、憲法は国の権力を制限するための規範と説明。自民党の改憲草案では自衛隊の活動に歯止めがなくなると批判し、「自衛隊は憲法に明記しないで歯止めをかけた方が良い」と主張した。改憲阻止には野党連携による国政選挙での候補者一本化が重要と訴えた。

一方で、国際社会は条約や国連…

残り：502文字／全文：776文字

令和最初の憲法記念日講演会

OBS5/3(金) 21:54

新元号「令和」となって最初の憲法記念日の3日大分市では護憲と改憲それぞれの立場で憲法を考える講演会が開かれました。大分市の県教育会館では「平和憲法を守る会大分」が講演会を開催

し、憲法学を専門とする日本体育大学の清水雅彦教授が「安倍政権が進める憲法改正案の問題点」について話しました。この中で清水教授は政府が憲法9条を改正しようとする動きが、大臣や国会議員の憲法の尊重、擁護義務を定めた99条に違反する可能性があるなどと指摘しました。また、各政党との意見交換や市民・労働組合との政策づくりを通して憲法改正を発議させないことが大切だと呼びかけました。一方、ジェイコムホルトホール大分では「美しい日本の憲法をつくる大分県民の会」が主催する講演会が開かれ、自民党の杉田水脈衆議院議員が憲法改正の必要性を話しました。この中で杉田議員は前回の参院選で鳥取・島根県などで実施された合区について、現在の憲法を改正し地方の国会議員の数を確保しなければ活性化が図れないなどと指摘しました。このほか、児童虐待や育児放棄を無くすため教育分野について憲法を改正し、教育の無償化を実現することが必要だなどと訴えました。

憲法記念日 改憲についての講演会

テレビ大分 2019年05月03日 19:00 更新

5月3日は憲法記念日です。大分市では憲法改正について賛成と反対、それぞれの立場の団体が講演会を開きました。

大分市のホルトホール大分では憲法改正派である美しい日本の憲法をつくる大分県民の会が集会を開きました。会にはおよそ500人が参加し自民党の衆議院議員、杉田水脈氏が講演を行いました。この中で、杉田議員は「私たちの生活は変わってきているが憲法は公布以来、一言一句変わっていない。日本人の手による憲法制定を最終目標にその第一歩として憲法改正を成し遂げたい」などと訴えていました。

一方、大分市の県教育会館では平和憲法を守る会・大分が改憲反対を訴える集会を開きました。会にはおよそ350人が参加し日本体育大学の清水雅彦教授が講演を行いました。この中で、清水教授は安倍総理が憲法9条に自衛隊を明記すべきと主張していることについて「憲法は国家権力を縛るものであり9条はその最たるものである。自衛隊の権限拡大に繋がるため自衛隊は憲法に明記するべきではない」などと述べていました。

憲法記念日 改憲派、護憲派それぞれが集会

大分合同新聞 2019/05/04 03:01

憲法記念日の3日、安倍晋三首相（自民党総裁）はビデオメッセージで、2020年の改正憲法施行に重ねて意欲を示した。県内では、改憲派、護憲派の団体がそれぞれ大分市内で集会を開催。改憲に対するスタンスや、今後の取り組みについて主張を展開した。

護憲派 共闘の必要性を強調

「平和憲法を守る会・大分」など7団体は大分市下郡の県教育会館で第49回憲法記念日講演会を開いた。350人が参加。日本体育大学の清水雅彦教授（憲法学）が講師を務め、9条への自衛隊明記など自民党がまとめた4項目の改憲条文案の問題点を指摘した。

「安倍改憲案の何が問題か、改憲阻止に何が必要か」と題して

話した。「憲法は国家権力を縛るが首相にその意識がない」と批判。9条改正により自衛隊に歯止めがかからなくなる危険性を強調した。他に参院選合区解消、緊急事態条項、教育充実の条文案別に課題を述べた。

改憲阻止に向けた共闘の必要性を強調。「国会で多数になるため、大同団結をするべきだ」と話した。

改憲派 不変なことに疑問を

「美しい日本の憲法をつくる大分県民の会」は、大分市金池南のJCOMホルトホール大分で第11回憲法講演会を開いた。衆議院議員の杉田水脈（みお）氏が、憲法改正などについて講演。約200人が参加した。

杉田氏は「時代とともに法律や条例は改正されるが、憲法は一言一句変わらないことに疑問を持ってほしい」と強調。教育関連、参院選の合区解消について「生活に直結する問題から解決するべきだ」とし、改正の必要性を訴えた。

日本文化チャンネル桜沖縄支局の我那覇真子（がなは・まさこ）キャスターは「日本国憲法へ若き女性からの提言！」と題して講演。「日本人としての精神が回復して初めて正しい憲法が手に入る」と話した。

憲法記念日 護憲派が集会

MRT5/3(金) 18:27



きょうは憲法記念日です。憲法改正をめぐる議論が注目される中、宮崎市では憲法を守ろうと護憲派の団体による集会が開かれました。これは、県内の護憲派の市民団体が行ったもので、宮崎市役所前で開かれた集会には、約100人が参加しました。集会では、「憲法九条を守る声を大きくするよう訴える」などとした大会宣言を発表しました。このあと、参加者は横断幕を掲げ市街地をデモ行進しました。夏の参院選を控え、憲法改正をめぐるのは、改正の是非を問う国民投票法改正案や、憲法9条への自衛隊明記などに関する議論について注目が集まっています。

UMK テレビ宮崎 2019年05月03日 18時19分更新

憲法記念日 憲法と平和を考える集い

きょうは憲法記念日です。

宮崎市では、憲法と平和を考える集いが開かれました。

この集いは、日本科学者会議宮崎支部などが毎年開いていて、関西学院大学の副学長で法学部教授の富田宏治さんが講演を行いました。

富田さんは、憲法改正を阻止するためには「夏の参議院選挙での野党共闘が大事で、改憲勢力を抑え込むためには無党派層を取り込まなければならない」と訴えました。

この後、市民団体による集会が行われました。参加者はこの後、平和憲法の大切さを訴える横断幕を掲げながら宮崎市の橋通りをパレードしました。

憲法記念日 改憲派と護憲派がそれぞれ集会 MBC05/03 18:46



きょう5月3日は憲法記念日です。

鹿児島県内では改憲派、護憲派がそれぞれ集会を開きました。

鹿児島市で開かれた憲法改正を目指す団体の集会にはおよそ300人が参加しました。会場では、東京の集会がインターネットで中継され、安倍総理がビデオメッセージで2020年の改憲に改めて意欲を示しました。

(安倍総理)「憲法にしっかりと自衛隊と明記し、違憲論争に終止符を打つ。私はその先頭にたって責任をしっかりと果たしていく決意です」

集会では、憲法改正への機運が高まっているとして衆参両院の憲法審査会に対し、論議の活性化を求めていくことなどを確認しました。

一方、憲法改正に反対するつどいが鹿児島市で開かれました。

「市民のつどい」は、生協コープかごしまや青年法律家協会鹿児島支部など7つの団体が毎年開いていて、今年は、500人が参加しました。会では、東京新聞の論説・編集委員の半田滋さんが講演し、安倍総理が目指す改憲が実現すると、集団的自衛権の行使など事実上の軍隊としての活動が拡大するとして憲法9条を守るべきと訴えました。

憲法記念日 護憲?改憲?それぞれ集会

KKC 鹿児島放送 5月3日

5月3日は「憲法記念日」です。県内では護憲派と改憲派の集会が開かれ、それぞれの立場で憲法のあり方について考えました。県護憲平和フォーラムが開いた集会にはおよそ180人が参加し、沖縄国際大学の照屋寛之教授が「安倍改憲を阻止するために」をテーマに講演を行いました。歴代の政権が憲法違反としてきた「集団的自衛権」の行使を容認するなど安倍政権が押し進める国防の在り方に苦言を呈した上で、憲法が目指した政治を実現することが必要だと強調し、改憲への反対を訴えました。一方、憲法改正を掲げる「美しい日本の憲法をつくる鹿児島県民の会」も集会を開きました。竹島や尖閣諸島の領有権問題など、東アジアを取り巻く情勢が厳しさを増しているとして、参加者は「憲法改正が必要だ」と訴えました。そして憲法改正に向けた議論の活性化などを提唱する声明文を採択しました。

憲法記念日 改憲派 護憲派集会

鹿児島読売テレビ 2019.05.03 19:07

令和になって初めての憲法記念日。鹿児島市では、改憲派、護憲派それぞれの集会が開かれた。

「美しい日本の憲法をつくる鹿児島県民の会」が開いた改憲派の集会には約400人が参加した。安倍総理が来年の新憲法の施行に意欲を示す中、会の参加者がそれぞれの立場で憲法改正への思いを語った。女性代表の渡辺町子さんは「自衛隊の皆さんを心から誇りに思う。そしてこの自衛隊を憲法に明記してほしい」と訴え、日本会議出水支部の藤野基事務局長は「国家にも自衛権がある。この権利を行使するためにはどうしても軍事力は不可欠。このことを明確にうたっていないがために自衛隊違憲論争が今でも続いている」とした。会では「憲法改正問題に関する議論の活性化と憲法改正の国会発議に向けて決意をもって取り組む」とする決議案を採択した。

一方、県護憲平和フォーラムが開いた集会には約200人が参加した。会では、沖縄国際大学法学部の照屋寛之教授が「安倍改憲を阻止するために」と題して講演した。照屋さんは、安倍総理が意欲を示した「憲法9条に自衛隊を明記する改正案」を批判。

「日本が戦後72年1人の死者も出さない1滴の血も流さず維持できたのは憲法9条があったから。だからこれがいかに大事であるか。これがしっかりと平和を守って来た」と語った。また、今の日本に必要なことは「憲法を変えるのではなく憲法が目指した政治を実現すること」だと訴えた。

平和憲法の下へ帰ろう・・・復帰前から求め続けた平和と人権 沖縄タイムス 2019年5月3日 09:00

平和憲法の下へ帰ろう、祖国復帰を勝ち取ろう。



米軍の不当支配などを訴えた1965年の4・28祖国復帰要求県民総決起大会。60年代中ごろから沖縄への憲法適用が叫ばれた＝1965年4月、神原小学校



立法院会議議事録など復帰前の資料を見返す古堅実吉さん＝那覇市内

本土復帰前の1965年3月12日、琉球立法院の議場。野党を代表して登壇した元人民党立法院議員の古堅実吉さん(89)

は、思いを強くしていた。馬てい形に並ぶ議席から同僚議員の視線が一斉に集まる。心臓の音が高まるのを感じた。

「ただいま議題となっております住民の祝祭日に関する立法の一部を改正する案について、その骨子と提案の理由について申し述べたいと思います」

議題となった祝祭日は5月3日の憲法記念日。当時の沖縄は1961年公布の「住民の祝祭日に関する立法」で休日定められていたが、憲法記念日は入っていなかった。米軍施政権下で日本国憲法が及んでいないことが主な理由だ。

古堅さんは用意した原稿に目を落とし、一呼吸置いてから続けた。

「日本国憲法がわれわれ県民の憲法ではないと考えている県民はいないだけではなく、全県民は憲法がわが沖縄にも適用される日の一日も早く早らんことを心から願い続けているというのが実際であります」

米軍統治下の沖縄は住民の人権や自由、生活の安全が守られない状態が続いていた。記念日を設けることで米軍支配から脱却し、憲法適用を目指す闘いを強化しようと考えた。

■ ■
演説を終えると、議長が「質疑ございませんか」と他の議員に促した。

「反対意見が出る」。古堅さんは身構え、議場を見渡した。4年前にも同様の提案をしたが、保守系議員から「憲法の適用がないのに記念日はおかしい」と反対されていた。

しかし、手を挙げる人は誰もいない。「質疑なし」。誰かが叫んだ。拍子抜けするほど淡々と議事は進行し、前夜までに練り上げた想定問答は幻となった。

古堅さんは「県祖国復帰協議会が結成され、復帰運動への機運が高まってきた時期。今思えば誰もが憲法の下へ帰りたいと思ったのだろう」と振り返る。

法案は同年4月9日の本会議で全会一致で可決された。絶対的な権力を持った高等弁務官も、世論を気にしてか、議案に対する拒否権を発動しなかった。

「平和憲法への復帰」は復帰運動の大きなスローガンになった。多くの住民が平和憲法を持つ日本という国に憧れ、平和への志向を強めていった。しかし、待ち受けていたのは理想とはほど遠い現実だった。

(社会部・下里潤)

◇ ◇

5月3日、令和に入り初めての憲法記念日を迎えた。沖縄への憲法適用は本土から遅れること25年。復帰後も広大な米軍基地が残り、人権が脅かされる状態が続く。改憲への動きが加速する中、沖縄の憲法史を振り返り、新時代に憲法が果たす役割を考える。

RBC2019/05/03 18:07

きょう憲法記念日 護憲派と改憲派が集会

5月3日は憲法記念日です。県内では護憲派と改憲派による集会が開かれました。

このうち浦添市では、憲法普及協議会などの主催で憲法講演会が開かれ、主催者発表でおよそ1000人が集まり、ジャーナリストの青木理さんと、県内在住のノンフィクションライター・渡瀬夏彦さんが対談しました。

「侵してはならない土台の部分は基本的に憲法に書かれている。これはやっちゃいけませんよ。権力を行使する人たちはこの土台を守ったうえでやってというのが民主主義」

(ジャーナリスト・青木理さん)

また、青木さんは沖縄の基地問題に対する政府の姿勢を批判し「日本の保守政治は劣化している」と指摘しました。

一方、那覇市ではことして13回目となる「新しい憲法をつくる沖縄県民の集い」と題した集会があり、80人ほどが参加しました。

政治評論家の高橋利行さんが今後の政局と憲法改正について講演し「国際情勢が険しくなる中、国民の生命と財産を守るために自衛隊を憲法で位置づけ体制を整える必要がある」と主張しました。

その上で、「戦争で大きな被害を受けた沖縄からこそ新しい憲法をつくるのろしを上げるべきだ」と呼びかけました。

集会ではこのほか、有事の際の緊急事態条項を憲法に盛り込む必要性などを訴え、一日も早い憲法改正への取り組みを呼びかける決議が採択されました。

憲法記念日のきょう 改憲派・護憲派が集会

琉球朝日放送 2019年5月3日



憲法記念日の5月3日、県内では憲法について改正を訴える側と現行を守ろうと訴える側がそれぞれ集会を開きました。

護憲派の憲法普及協議会が開いた集会には、およそ1000人が参加しました。対談に臨んだ、ジャーナリストの青木理さんは、憲法改正を目指して安倍総理に対して、本気で憲法改正や憲法のあり様を議論したいのであれば真正面からすべきと指摘したうえで、自衛隊の明記についても触れ批判しました。

青木理さん次のように話しました。「自衛隊というものを9条に書き込みたいというんですね。「それによって何が変わるんですか？」言ったら「何も変わらない」というんですね。そんなだったら議論する価値がないと僕は思うんですね」

一方、改憲派は那覇市で集会を開き、およそ80人が参加しました。

この中で、政治評論家の高橋利行さんは、アメリカのトランプ大統領が就任して以降、世界情勢は厳しくなっていると主張した上で憲法9条への自衛隊明記をめぐる問題について次のように自論を展開しました。

高橋利行さん次のように話しました。「自衛隊を持っていると、自衛隊を憲法に書けば、戦争になるという人がいるようですね。」

しかしそうでしょうか？私は違うと思います。憲法に明文として書かれていなくてももし国際情勢が険悪になれば政府は、安倍政権はやるときはやると思います」「基本的には日本の憲法を改正して自衛隊のできることと、できないことをはっきり書くということです」

憲法記念日 護憲派、改憲派が集会

琉球朝日放送 報道制作局 2018年5月3日



5月3日は憲法記念日です。安倍政権が憲法改正に向けて動き出す中、県内でも護憲派と改憲派が集会を開きました。

3日、那覇市内では、改憲派の集会が開かれました。

これは市町村議会議員のOBたちで作る、「新しい憲法をつくる沖縄県民の集い」が日本会議の協力も得て開いたものです。会では「戦力の不保持」や「交戦権の否認」を規定した憲法9条2項を削除し日本人が自分たちの手で平和を守るべき、そのためには改憲が必要だと訴えています。

集会には元衆議院議員の宮崎政久さんも講師として参加し「9条の議論は避けて通れない。憲法の改正に臨むのは、次の時代を見据えて果たすべき仕事をやること」だと強調しました。

一方、宜野湾市では、護憲派の憲法普及協議会の講演会が開かれ全国で改憲問題について講演を行っている伊藤真弁護士が登壇しました。伊藤さんは政治権力に制限を加える「立憲主義」の重要性を強調し、この考え方が国民の間で共有されないまま改憲の議論を進めることに危機感を示しました。

また改憲論の最大のポイントとされる憲法9条については「集団的自衛権を行使しない」で来られたのは憲法9条のおかげだと指摘。

これを変えてしまうことで国や国民の安全を保つためには「必要な措置」だとして集団的自衛権の行使などが許されてしまい、9条の理念である「戦力の不保持」や「交戦権の否認」という理念が実質的に失われると警鐘を鳴らしました。

今こそ立憲主義 青木、渡瀬さん—政権の民意無視批判 浦添で講演会、1100人来場 憲法記念日

琉球新報 2019年5月4日 05:00

憲法記念日の3日、「2019憲法講演会」（主催・県憲法普及協議会、沖縄人権協会、日本科学者会議沖縄支部）が浦添市のでだこホールで開かれた。ジャーナリストの青木理さんとノンフィクションライターの渡瀬夏彦さんが「沖縄から鍛える民主主義」を演題に対談した。会場には約1100人が来場。安倍政権の下で改憲議論が進む中、平成の天皇が退位し令和となって初めての憲法記念日を迎え、立憲主義の重要性について考えた。



渡瀬夏彦さん（左）と青木理さん

講演会で青木さんは民主主義について「基本的には多数決だが、憲法が土台にある。土台を守った上で進めることが正しい民主主義の在り方だ」と指摘した。その上で「少数者への配慮や思いやりを常に考えることが重要だ」とし、米軍基地が集中する沖縄に安倍政権が民意を無視する形で新基地建設を強行している現状を問題視した。

さらに「メディアの問題も大きい」と言及。権力を監視し、少数者に耳を傾け問題提起することが「健全な民主主義に不可欠な装置だが、そうっていない」と提起した。

安倍晋三首相の改憲論については「首相の憲法への思いはコアな支持基盤によるものしかない」と指摘した。安倍首相が過去に憲法改正手続きを定めた96条改正を打ち出したことに着目。改正の条件を緩めようとする動きとして「本気で改憲したいなら真正面から議論したらいいが、正面突破が難しいからどこかを突破口にする発想」と批判し、安倍政権下での改憲に警鐘を鳴らした。

渡瀬さんは名護市辺野古の新基地建設を巡り「知事の承認撤回に対し、国の機関同士で取り消しを決めるという茶番劇をする。既成事実化で諦めさせようとする実態がある。それを伝えないメディアの問題もある」と投げ掛けた。

◇9条守る決意固く 来場者



憲法講演会で登壇

者の対談に聞き入る来場者ら＝3日、浦添市のでだこホール

県憲法普及協議会などが3日に浦添市のでだこホールで開催した憲法講演会では、改憲を目指す安倍政権を軽妙かつ率直に批判したジャーナリストの青木理さんの語りに、満員の参加者が聞き入った。参加者からは戦争放棄や戦力不保持を定めた憲法9条を守る決意の声や、民意を無視して米軍普天間飛行場の名護市辺野古移設を強行する政府を批判する声が聞かれた。

青木さんが世論調査で現政権下における改憲に反対する意見が多いことに「国民も現政権のやり方に『まずい』と感じている」と指摘すると、参加者から大きな拍手が起こった。

沖縄戦当時、本島北部の山中に避難して生き抜いた島袋正子さん（84）＝宜野湾市＝は「絶対に9条を改正してはいけない」と

いう思いを胸に参加した。「戦争をしたために沖縄には今も多く
の基地がある」と指摘し、辺野古への新基地建設について「どう
して沖縄にだけ押し付けるのか」と憤った。

名護市から参加した男性(47)は「国民との話し合いなしに現
政権下で改憲することは許されない」と強調した。

スタッフとして参加した瀬底言(げん)さん(29)は「国家主
義的な言論が目立つようになり危機感を持っている。憲法学の積
み重ねを大切に、冷静に議論することが必要だ」と話した。